

第4回研究集会

年少者日本語教育学を考える会

平成 18 年 2 月 19 日

早稲田大学 西早稲田キャンパス 22 号館

1. 開場と開会 午後 12:30 に開場、午後 1:00 に開会 (202 教室)

2. 口頭発表 午後 1:00～3:10

	第一会場(201教室)	第二会場(202教室)
I 1:00 ～ 1:20	① 多様な背景を持つ子どもの授業への参加過程の関係論的分析—言語を通じた関係性構築に注目して— 尾関 史(建陽大学校)	① 協働を意識した絵本作りと新聞づくりの取り組み—一人と人との関係性の中で、ことばを学ぶ— 渡辺千奈津ほか 7 名(早稲田大学大学院)
II 1:20 ～ 1:40	② 公立中学校の外国人生徒のための「JSL カリキュラム」の授業—フィリピンから来日したある生徒を対象に— 熱海まき子(横浜国立大学大学院)	② 「定住型児童」の「読む力」を育む対話と協働学習の可能性と課題—「イメージ化」を取り入れたピア・リーディングの実践をもとに— 藪本容子(早稲田大学大学院)
III 1:40 ～ 2:00	③ 外国語としての年少者日本語教育で何を指すのか—オーストラリアの最近の言語政策と教室実践の検討から— 山田裕子(早稲田大学大学院)	③ 幼少期来日児童を対象にした日本語指導、国語物語文読解の場合「読み聞かせ」「LEA(言語体験アプローチ)」「リライト文」を組み合わせた指導法とその卒業 滑川恵理子(横浜国立大学大学院)
IV 2:00 ～ 2:25	分科会ディスカッション	分科会ディスカッション
V 2:30 ～ 2:50	第二会場(202教室) 韓国の年少者日本語教育の今後について—教育パラダイム転換の視点から— 李 ヒョンジョン(桜美林大学大学院)	
VI 2:50 ～ 3:10	ディスカッション	

3. 講演 3:20～4:20 (202 教室)

「教育現場における課題解決型研究の可能性」 佐藤郡衛 (東京学芸大学)

4. 全体ディスカッション 4:20～5:00

5. 閉会 午後 5:00

参加申し込み先

早稲田大学大学院 川上研究室 (kawakami@waseda.jp)

お申込みの際は氏名・所属・連絡先をお知らせください